

財政収支(1-11月)

(1) 1-11月の歳入は前年同期比36.5%増、税収は同39.6%増。歳出は前年同期比24.0%増。
 (2) 結果として1-11月の財政収支は465.00億リラの赤字(前年同期比64.8%増)、プライマリーバランスは1253.92億リラの黒字(同4307.8%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年1-11月(A)	2021年1-11月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	9,319.34	12,723.28	36.5%
税収	7,545.93	10,534.09	39.6%
所得税	1,419.56	1,961.36	38.2%
法人税	1,037.56	1,749.34	68.6%
付加価値税(国内及び輸入)	2,043.22	3,421.12	67.4%
特別消費税	1,854.38	1,854.22	▲0.0%
その他税収	1,191.21	1,548.05	30.0%
税外収入等	17.73	21.89	23.4%
歳出(b)	10,639.87	13,188.29	24.0%
人件費	2,696.95	3,226.05	19.6%
物品及びサービスの購入	746.79	994.41	33.2%
経常移転	4,454.57	5,252.44	17.9%
資本支出	670.04	908.46	35.6%
支払利子(c)	1,290.73	1,718.93	33.2%
その他歳出	780.79	1,088.00	39.3%
財政収支(a-b)	▲1,320.53	▲465.00	64.8%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲29.80	1,253.92	4307.8%

経常収支(1-10月)

(1) 1-10月の経常収支は、84.26億ドルの赤字(前年同期は286.01億ドルの赤字)。
 (2) 1-10月の貿易収支(物品)は204.11億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は163.07億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

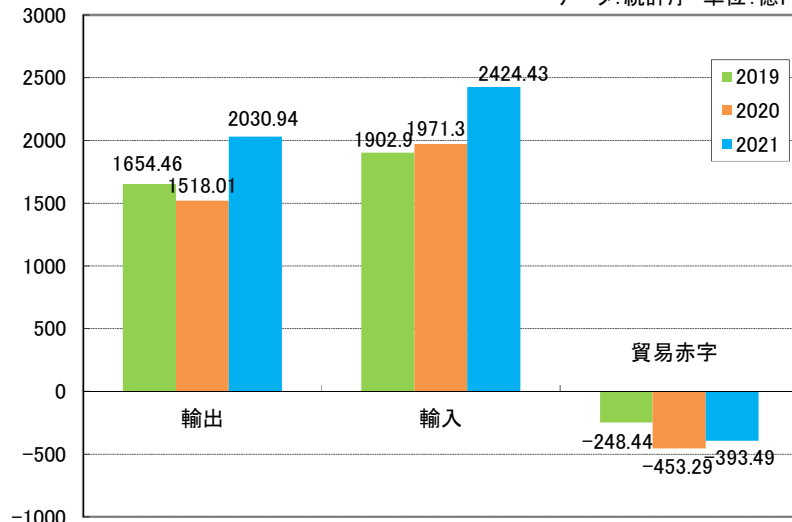
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2020年1-10月(A)	2021年1-10月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲286.01	▲84.26	70.5%
貿易収支(物品)	▲306.39	▲204.11	33.4%
サービス収支	98.28	211.83	115.5%
旅行収支	77.26	163.07	111.1%
第1次所得収支	▲77.83	▲101.25	▲30.1%
第2次所得収支	▲0.07	9.27	13342.9%
労働者送金	1.44	1.67	16.0%
資本移転等収支	▲0.26	▲0.63	▲142.3%
金融収支	▲377.58	61.99	116.4%
直接投資	▲31.36	▲58.84	▲87.6%
証券投資	142.51	▲42.16	▲129.6%
その他投資	▲104.22	▲179.81	▲72.5%
外貨準備	▲384.51	342.80	189.2%
誤差脱漏	▲91.31	146.88	260.9%

貿易収支(1-11月)

(1) 1-11月の輸出額は2,030.94億ドル(前年同期比33.79%増)、輸入額は2,424.43億ドル(同22.99%増)となり、この結果、貿易収支は393.49億ドルの赤字(同13.19%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-11月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.5%(前年同期は41.4%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は31.9%(前年同期は33.1%)となっている。

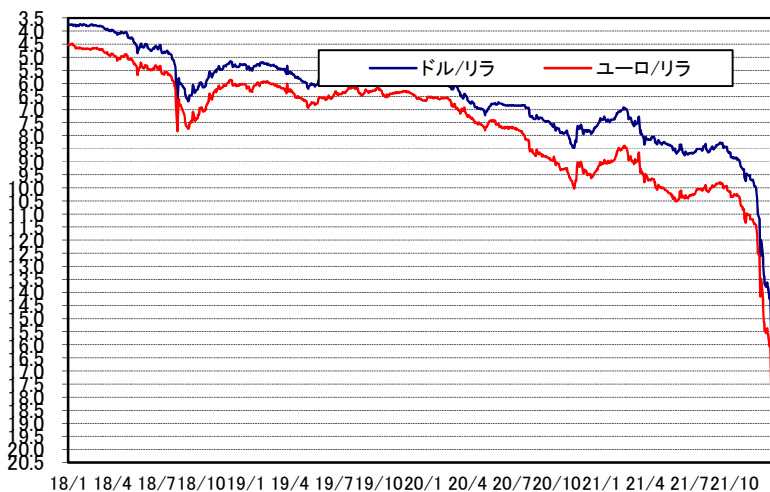
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(12月)

エルヴァン財務大臣の辞任や格付機関の見通しの変更、政策金利の引き下げ等が要因となり、リラ安が進行。中央銀行が為替介入を実施したものの、効果は一時的となり、20日には1ドル=17.47リラの史上最安値を記録を更新。その後、エルドアン大統領による為替レート保護トルコリラ定期預金の発表を受け、一時1ドル=11.39リラまで上昇。月末は1ドル=13.32リラ(前月末比2.9%安)、1ユーロ=15.08リラ(同2.7%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(11月)

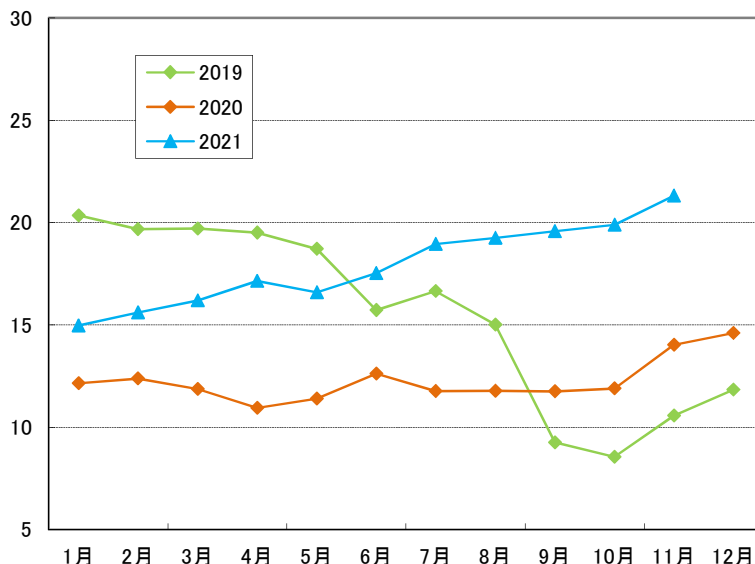
(1)10月の消費者物価は前年同月比21.31%増、前月比3.51%増。

(2)項目別にみると、前年同月比28.90%でホテル・カフェ・レストランが、前月比6.31%で輸送が最も上昇した。

(3)2021年末のインフレ率の中銀目標(10/28時点)は前年同月比18.4%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比54.62%増、前月比9.99%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



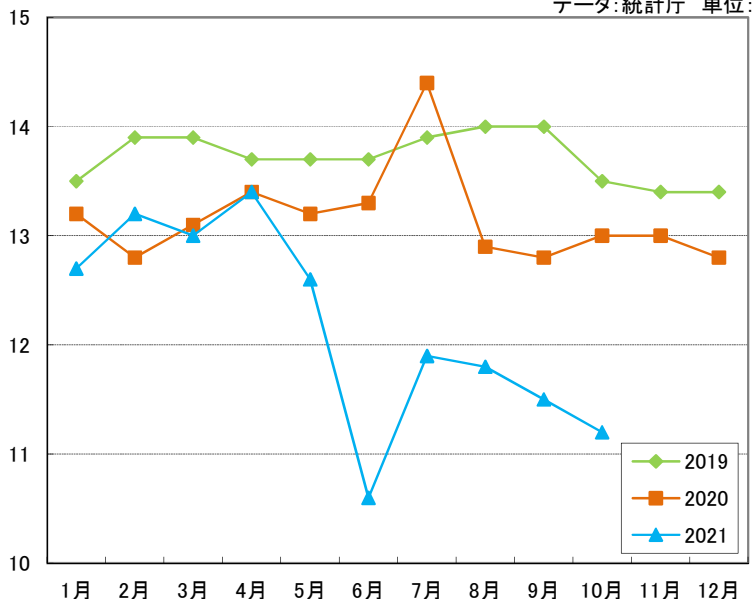
失業率(10月)

(1)10月の失業率(季節調整後)は11.2%。前年同月から0.2ポイント減少。

(2)労働力人口は3329.7万人、就労者数は2958.1万人、失業者数は371.7万人。

(3)男性の失業率は9.9%、女性は13.8%。若年層(15-24歳)の失業率は20.1%となっている。

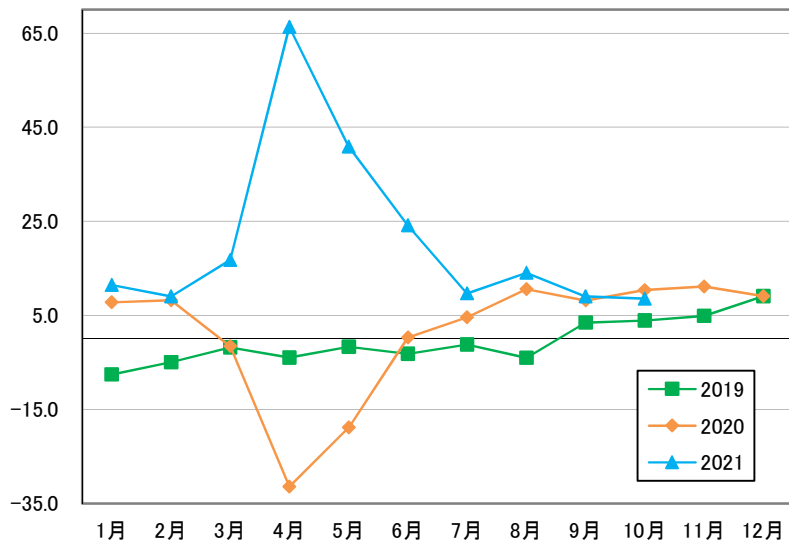
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(9月)

(1)9月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)8.5%増、前月比(季節及び日数調整後)0.6%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比5.7%増、資本財が同1.6%増、中間財が同12.9%増となった。

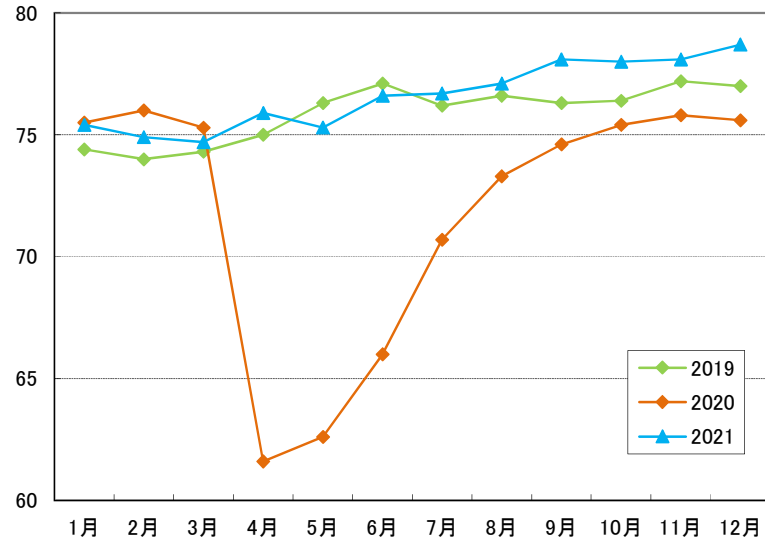
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(12月)

(1)12月の設備稼働率は78.7%となり、前年同月から3.1ポイント上昇し、前月から0.6ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品製造業(家具を除く)(84.9%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(66.6%)が最も低い稼働率であった。

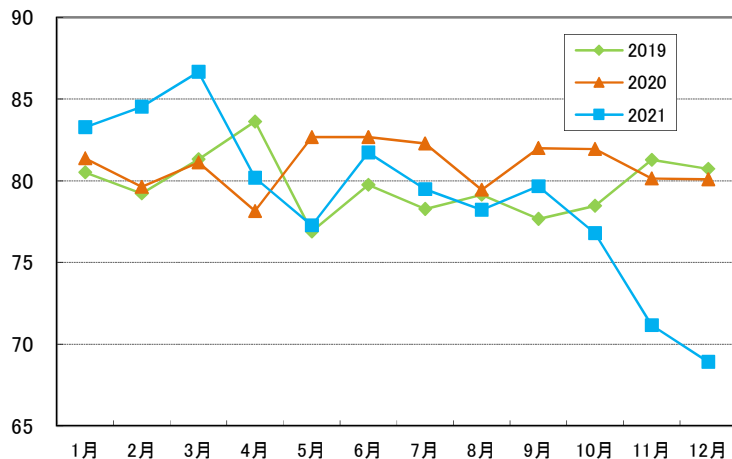
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(12月)

(1)12月の消費者信頼感指数(季節調整値)は68.9ポイントで、前月から2.2ポイント減少。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。

データ:統計庁 単位:ポイント



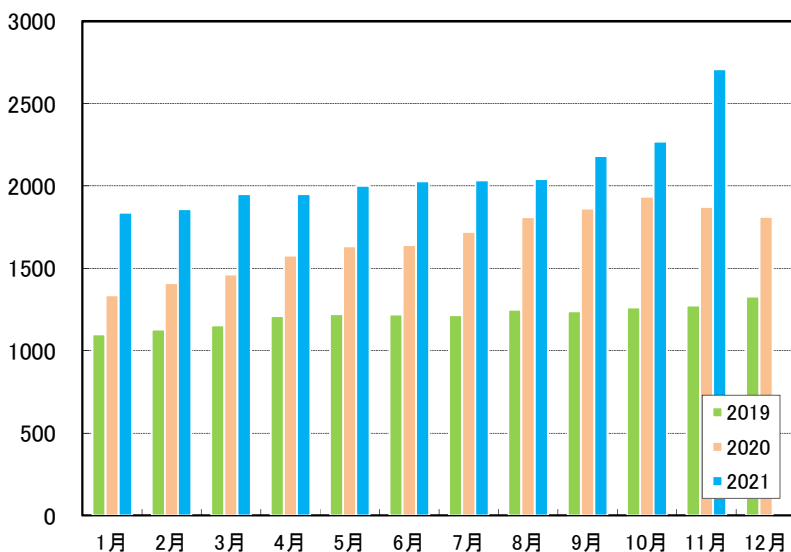
中央政府債務残高(11月)

(1)11月末時点での中央政府債務残高は2兆7,078億リラとなり、前月比19.4%増、前年同月比44.6%増となった。

(2)また、国内債務比率は48.6%、自国通貨債務比率は34.0%(2020年末は43.8%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は1.6%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

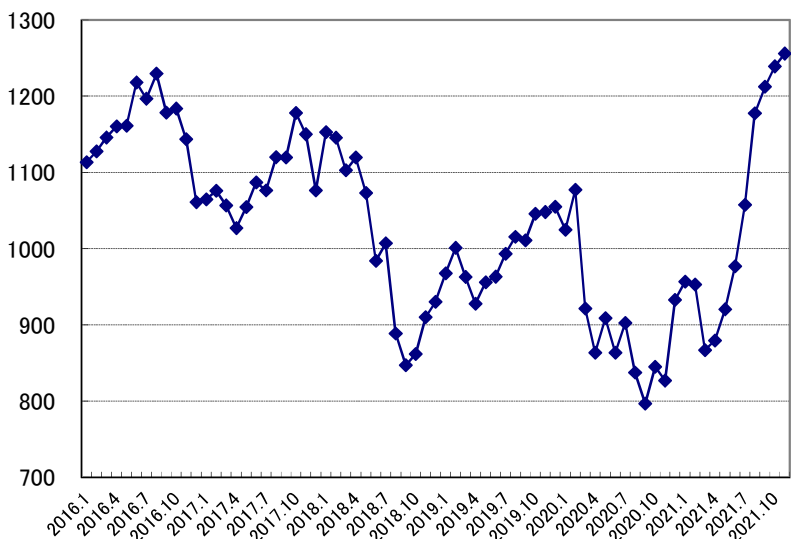


外貨準備高(11月)

(1)11月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,255.87億ドルとなった。

(2)前月から16.61億ドル増加し、8ヶ月連続の増加となった。

データ:中銀 単位:億ドル

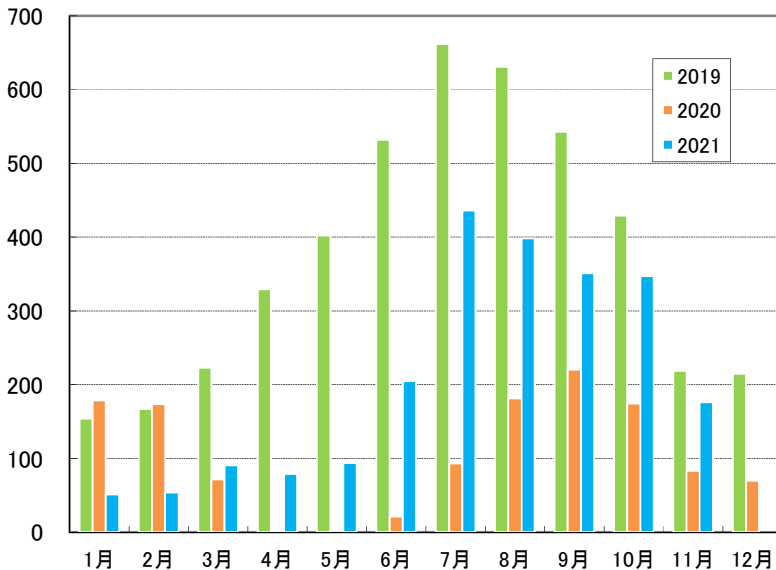


外国人訪問者数(11月)

(1)11月の外国人訪問者数は1,763,982人で、前年同月比111.51%増。日本は924人であった(前年同月は745人)。

(2)国別ではロシアが最も多く、192,809人で全体の10.93%を占め、以下、ブルガリア(159,237人)、ドイツ(152,026人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

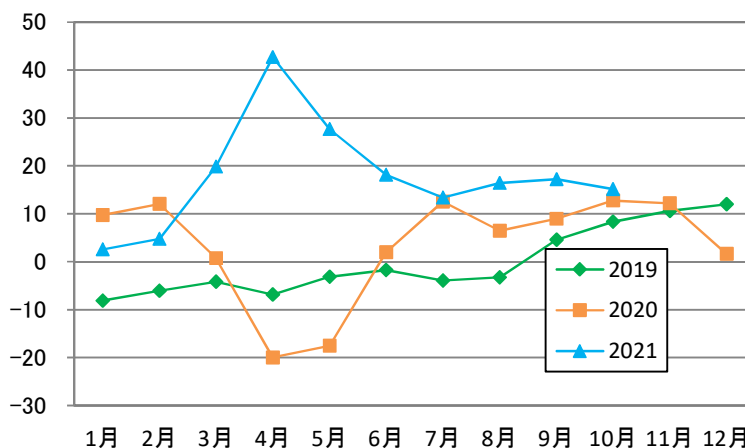


小売売上高(10月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)10月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)15.2%増、前月比(季節及び日数調整後)0.9%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比4.8%増、繊維・衣料が同43.5%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同16.7%増、となった。

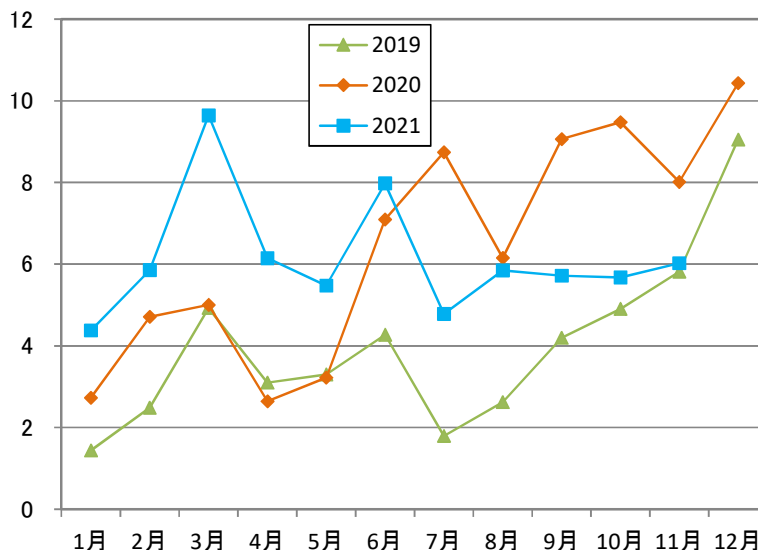


新車販売台数(11月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)11月の新車販売台数は60,216台で前年同月比24.86%減。

(2)11月の内訳は乗用車が42,982台(前年同月比33.2%減)、小型商用車が17,234台(同9.2%増)となった。



住宅販売戸数(11月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)11月の住宅販売戸数は178,814戸で前年同月比58.97%増となった。

(2)11月は新築が55,706戸(前年同月比52.0%増)、中古が123,108戸(同62.4%増)。

(3)11月の住宅ローンでの購入は39,366戸(前年同月比61.0%増)、その他が139,448戸(同58.4%増)。

